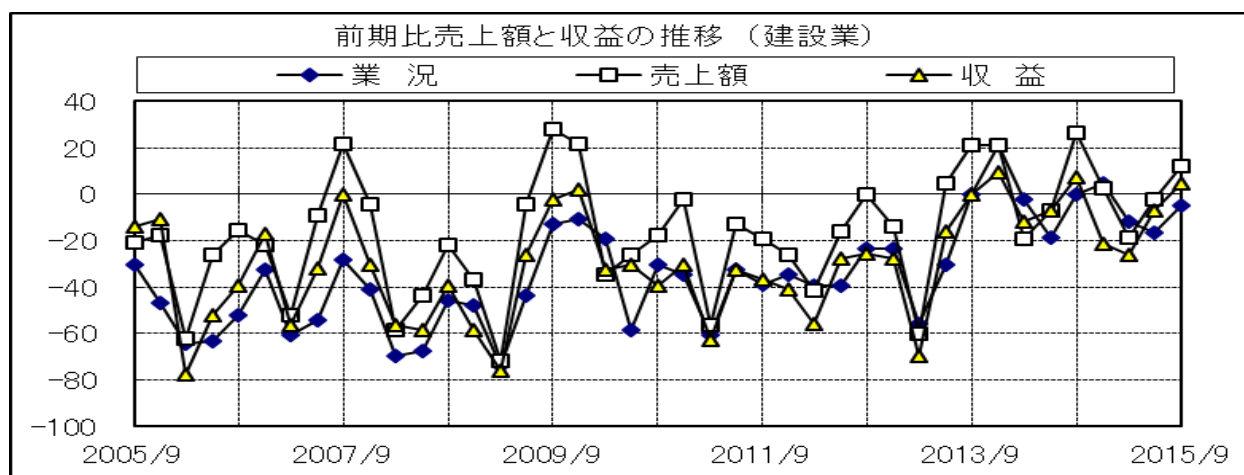


建設業 42 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
業 況	-11.9	-16.6	-4.8	-19.0
売上額	-19.0	-2.3	12.0	-11.9
収 益	-26.2	-7.1	4.8	-28.5

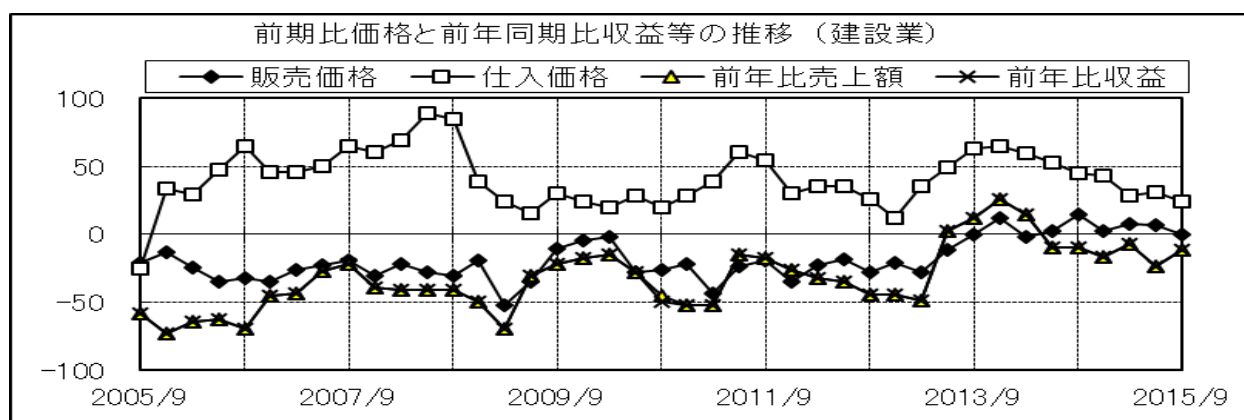
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 4.8$ と、前期比 11.8 ポイント上昇で、悪化幅が縮小した。地区別 D. I. の水準は高い順に、えりも、広尾、様似、三石と続き、浦河・静内は同水準で最低となった。前年（0.0）比では、4.8 ポイントの下降となった。売上額判断 D. I. はプラス値 12.0 と、前期比 14.3 ポイント上昇した。収益判断 D. I. もプラス値 4.8 と、前期比 11.9 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
請負価格	7.2	7.1	-0.1	-19.1
仕入価格	28.5	31.0	23.8	4.7

請負価格判断 D. I. は $\Delta 0.1$ と前期比 7.2 ポイント下降。仕入価格判断 D. I. は 23.8 と、前期比 7.2 ポイント下降で、上昇が弱まった。前年比では請負価格（前年 14.4）は 14.5 ポイント下降、仕入価格（同 45.2）は 21.4 ポイント下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
残業時間	-14.2	-14.3	-2.4	4.7
人手状況	-9.6	-2.4	-14.3	-14.3

残業時間判断 D. I. は $\Delta 2.4$ と前期比 11.9 ポイント上昇し、残業時間が減少したとする割合が減少した。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 14.3$ と、前期比 11.9 ポイント減少幅が拡大し、人手不足感を強めた。

□ 設備投資の動き

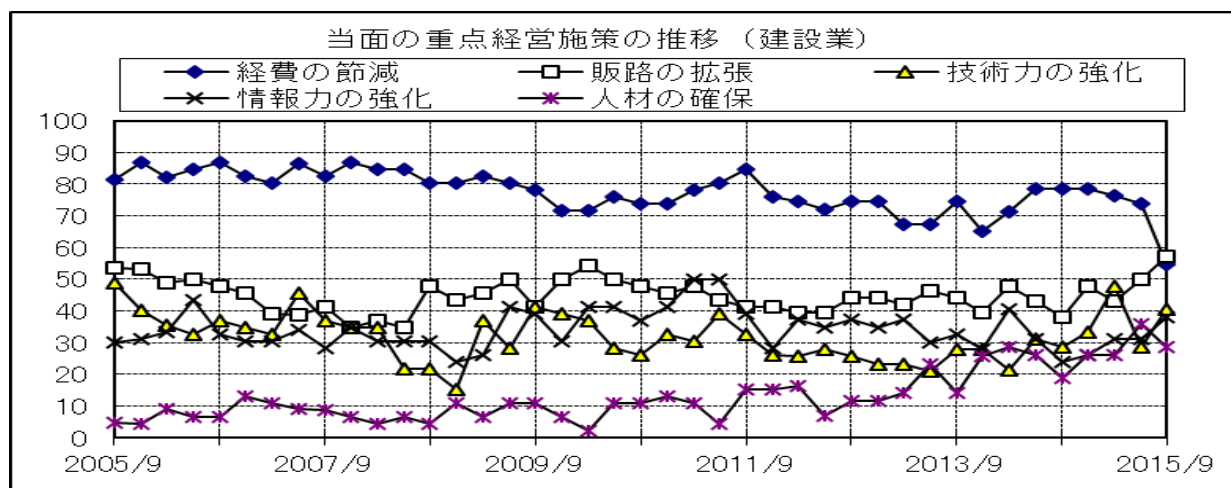
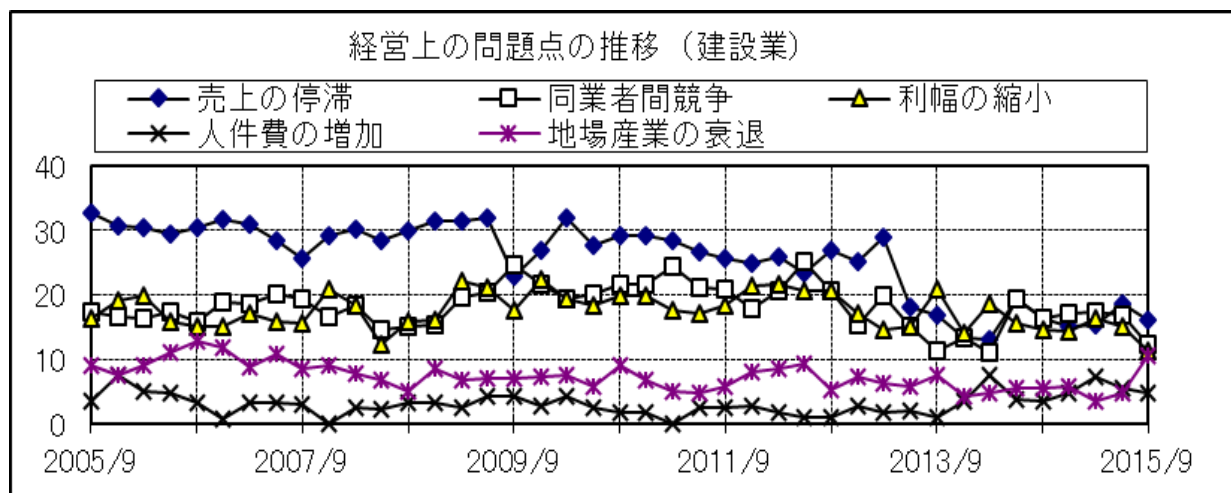
設備投資の充足感を示すD.I.は△11.9で、前期と同水準となった。

設備投資実施企業割合は23.8%と、前期比2.4ポイント上昇、設備投資は前期9社に対し、10社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」16.2%、「同業者との競合」12.4%、「利幅の縮小」「大手企業との競合」が同率の11.4%、「地場産業の衰退」が10.5%と続いている。

重点経営施策では、「販路を広げる」が57.1%でトップ、次いで「経費の節減」54.8%、「技術力を高める」40.5%、「情報力を強化する」38.1%、「人材の確保」28.6%、と続いている。



来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△19.0と、今期比14.2ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は△11.9と、今期比23.9ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は△28.5と、今期比33.3ポイントの下降を見通している。

予想請負価格判断D.I.は△19.1と、今期比19ポイントの下降を見通している。

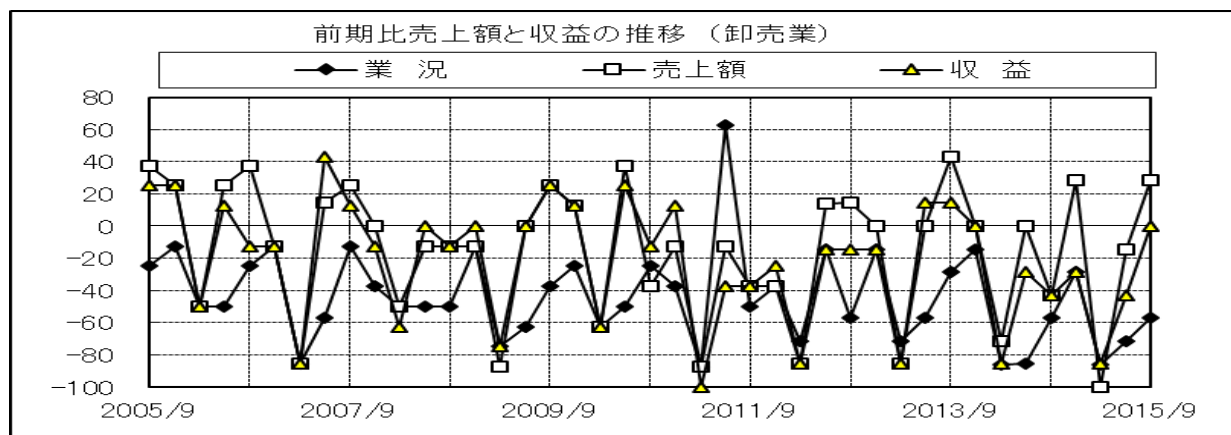
予想仕入価格判断D.I.は4.7と、今期比19.1ポイントの下降を見通している。

卸 売 業 7 企 業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
業 況	-85.8	-71.5	-57.2	-28.6
売上額	-100.0	-14.3	28.5	-14.3
収 益	-85.7	-42.9	0.0	-42.9

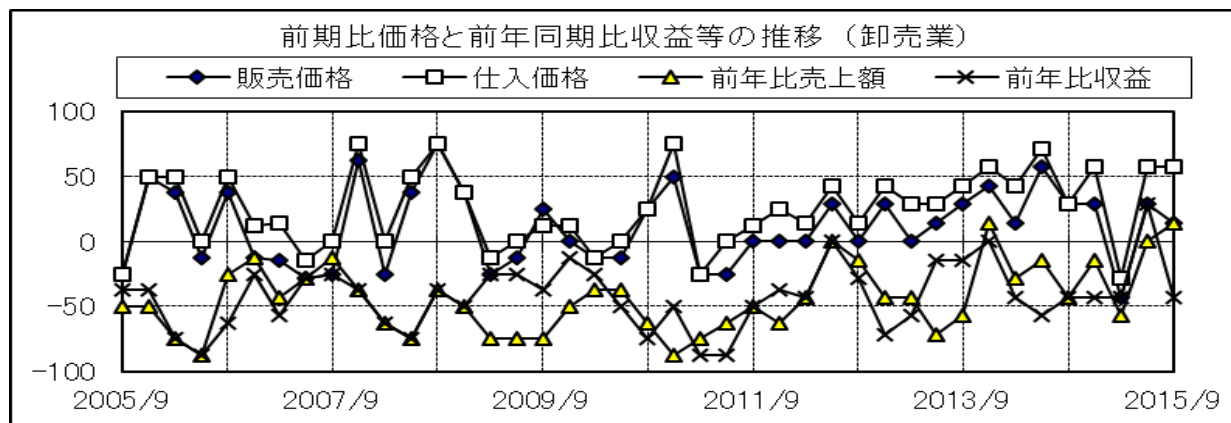
今期の業況判断 D. I. は△57.2 と、前期比 14.3 ポイント上昇で、悪化幅が縮小した。地区別の水準は、浦河、静内地区は改善、様似地区は横ばいとなった。業況は、前年 (△57.2) と同水準となった。売上額判断 D. I. は 28.5 と、前期比 42.8 ポイント上昇。収益判断 D. I. も、同比 42.9 ポイント上昇しゼロ水準となった。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
販売価格	-42.9	28.6	14.3	14.3
仕入価格	-28.6	57.1	57.1	28.6

販売価格判断 D. I. は 14.3 と、前期比 14.3 ポイント下降した。仕入価格判 D. I. は 57.1 と、前期と同水準。業種別にみると、水産、食品では、販売価格・仕入価格はともに上昇となった。前年比では、販売価格 (前年 28.6) は 14.3 ポイント下降、仕入価格 (同 28.6) は 28.5 ポイント上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残業時間	0.0	-28.6	-14.3	-28.6
人手状況	0.0	0.0	-14.3	0.0

残業時間判断 D. I. は前期比 14.3 ポイント上昇し、残業時間減少割合が減少した。

人手過不足判断 D. I. は前期ゼロ水準から 14.3 ポイント下降し、人手不足「超」となった。

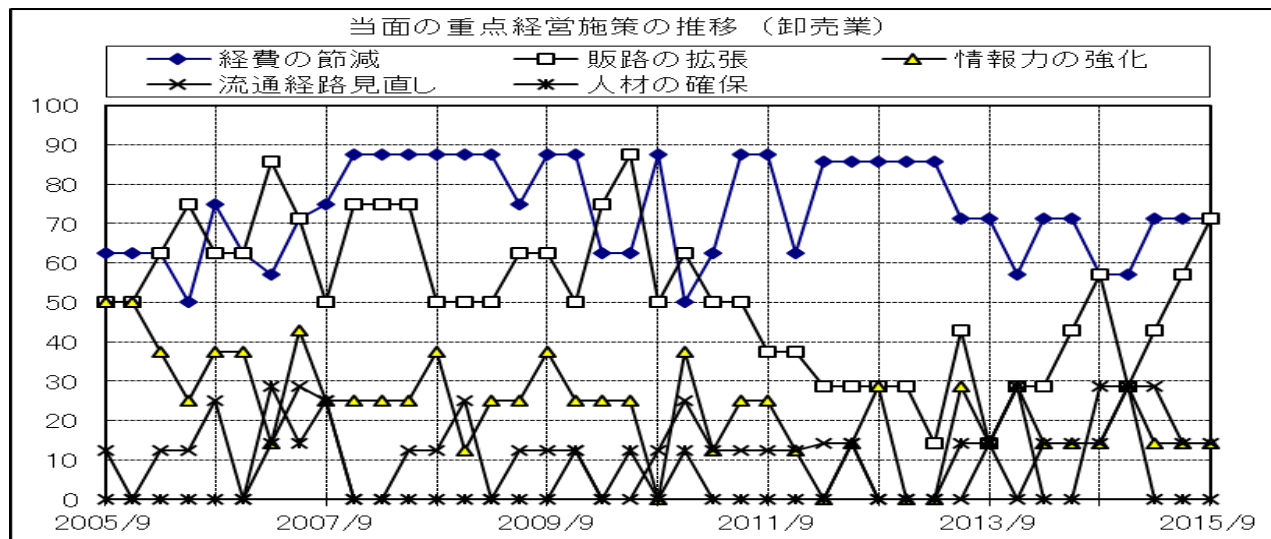
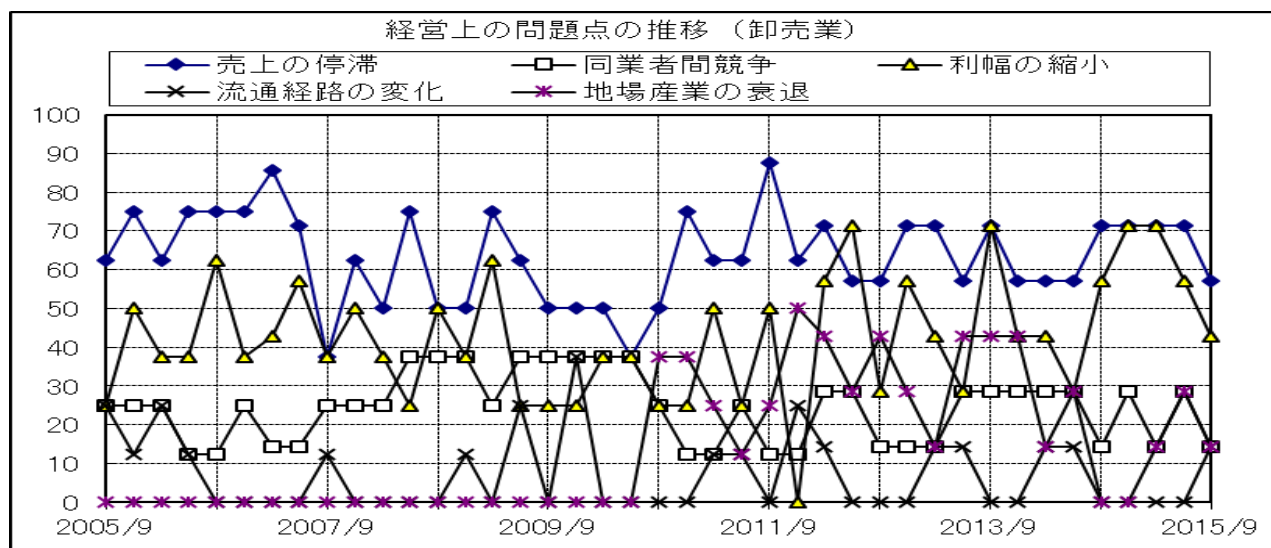
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD. I. は、前期ゼロ水準から△14.3となった。投資実施企業は、前期1件に対し0件となった。来期の設備投資の予定は今期同様0件。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」57.1%、「利幅の縮小」42.9%、「販売商品の不足」28.6%と続いた。

重点経営施策では、「販路を広げる」・「経費を節減する」をトップに挙げ71.4%、次いで「情報力を強化する」・「新事業を始める」・「流通経路を見直す」が同率の14.3%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△28.6で、今期比28.6ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は△14.3で、今期比42.8ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△42.9で、今期比42.9ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は14.3で今期と同水準を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は28.6で今期比28.5ポイントの下降を見通している。